

# サマーレビュー協議事項調書

1 部局名 (課名)	産業部 (産業振興課)	
2 協議事項 (案件名)	新産業創出	
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウクライナ情勢による資源・物資の供給制約や物価上昇など、地域企業を取り巻く社会環境は、引き続き予断を許さない状況である。</li> <li>・本市の製造品出荷額の4割を占める輸送機器産業では、自動車産業の技術革新の加速によるビジネス環境の変化への対応が急務である。</li> <li>・そのため、地域企業は社会課題解決につながるイノベーション創出に挑戦するとともに、サプライチェーンの一員として「脱炭素」「デジタル化」などへの対応、企業力強化に資する生産性や付加価値の向上などに取り組む必要がある。</li> </ul> <p>【KGI (第2期はままつ産業イノベーション構想)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人市民税調定額 (製造業) R2:2,137,220千円 → R3:2,190,200千円</li> <li>・1事業所あたりの付加価値額 R1:383万円 → R2:340万円</li> </ul>	
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域企業では、原油高・物価上昇、人材不足など足元の課題対策にリソースがさかれ、新事業展開、生産性向上の取組、デジタル化などの中長期的な成長投資が低迷している。 (令和5年2月実施「第2期はままつ産業イノベーション構想進捗状況把握アンケート調査」より)</li> <li>✓ 新規事業展開の取組(次世代輸送用機器分野) 開発中・実地中 17.1%</li> <li>✓ 次世代自動車センター会員企業の電動化取組 実施中 47% →効果が高い</li> <li>✓ 生産性向上の取組 実施中 38.9%</li> <li>✓ デジタル化の取組 実施中 34.7%</li> </ul>	
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	“がんばる地域企業”が取り組む付加価値の高い新事業展開や生産性向上、デジタル化に対応した人材の確保・育成などへの支援を強化する。	
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)次世代自動車センターによる地域企業の次世代自動車搭載の部品開発支援の強化</li> <li>(2)次世代モビリティ研究開発への参画</li> <li>(3)デジタル人材の育成等を通じた社会課題解決に資する新産業創出支援</li> <li>(4)産学官連携による産業人材の育成・スキルアップ支援</li> <li>(5)医工連携拠点の体制強化支援</li> </ol>	
6 結果	<input type="checkbox"/> 提案どおり進める <input checked="" type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める <input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討 <input type="checkbox"/> その他	具体的内容 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業の集積支援については引き続き検討
7 その他		